

男女入れ替え湯に気づかず  
男湯に入ってしまう  
ファルルの本



**R18**  
ADULT ONLY  
成人向け作品につき  
18歳未満閲覧禁止

この冊子は個人による非公式ファンブックです。原作者様・出版社様とは一切関係ありません。  
無断転載・複製・複写・インターネット上への掲載（SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む）は一切禁止です。  
処分する際は中身が分からない状態にいただいた上で可燃ゴミとして廃棄してください。

This booklet is an unofficial fan book done by an individual.  
It has nothing to do with the original author or publishing company.  
Any unauthorized reproduction, duplication, copying, or posting to the internet (including SNS, Net Auction, and flea market apps) is prohibited.  
When you dispose of it, please discard it as burnable garbage and treat it as though you do not know the contents.

「今日はお風呂に行く日だよ」

「ご機嫌なファルルちゃん。  
すっかり銭湯が  
気に入ったようです。」

「今日は男女入れ替え湯の  
日だけど、ファルルちゃんは  
男湯の方に入っちゃった。  
大丈夫かな。」

「あれっ。男の人がいる。  
ファルル間違っちゃったのかな」  
不安になっているファルルちゃんに  
おじさんが話しかけてきました。

「間違ってしまったことを伝えると、  
おじさんは笑顔で許してくれました。  
「なんなら、ゆっくりしていいんだよ」  
と、周りの人たちも笑いあっています。  
「本当？ファルル男湯はじめて！」  
安心したファルルちゃんは  
大好きな泡風呂へ向かいました。」

「待った ファルルちゃん。  
体はちゃんと洗ったかい？」  
おじさんが声をかけます。

「かけ湯だけじゃ足りないよ  
しっかり洗ってから入りなさい」

「ファルル、自分で洗えるよ？」  
「せつかくだからおじさんが  
洗ってあげるよ。遠慮しないで」

「洗いっこするの？じゃあ、お願いします」  
おじさんの親切にファルルちゃんは嬉しそうです。  
「女の子だから手でやさしく洗わないとね」  
「おじさんも手伝うよ」  
やさしいおじさんたちがファルルちゃんの体を  
綺麗にしてくれるようです。





くすぐったそうなファルルちゃん。  
おっぱいを念入りに洗われるのは  
ちよつと苦手なようです。  
「ファルルのおっぱい、そんなによごれてないよ？」  
「大事なところだからしつかり洗わないと。」  
ほら、じつとしてなきやダメじゃないか  
我慢するファルルちゃんですが、乳首を触られると  
どうしても動いてしまうようです。

「乳首クリクリされるの気持ちいい？  
気持ちいいし体も綺麗になれるしよかったね〜」  
「うんっ、ありが、と…?」

「おまんこも綺麗にしようね」  
「おまんこ？」  
「このことだよ、とおじさんは  
舐めはじめました。」

「デリケートなところだからね〜  
舐めた方が手より優しいし、気持ちいいでしょ？」  
「んっ わかんない…?」  
初めての感覚に戸惑うファルルちゃん。  
ピクピクと体が動いてしまうのを  
おじさんたちに押さえてもらっているよ。



ひとときわ大きくフアルルちゃんの  
体が跳ねました。

「フアルルちゃんイっちゃったの？  
イクときはイクって言わないとダメだよ」

ビクッ

ヒューッ  
ヒューッ  
ズッ

「イク…？イクって何？」  
「今みたいに気持ちよくて  
のけ反ったりしちゃうことだよ」  
「おじさんに教えてもらっても  
いったばかりのフアルルちゃんは  
頭がうまく働きません。」

「今度はフアルルちゃんが  
おじさんのおちんちんを綺麗にする番だ」  
「おちんちん？」  
「おまんこと一緒にデリケートな部分だから  
ちゃんと口を使って綺麗にしてね」  
「おじさんはおちんちんを顔に近づけてきます。」

「うん…お口を使うの？」



「んっ」

れろ

れろ

「そろそろファルルちゃん舐めるの上手だね。ちっちゃいお口だけで奥まで入るかな？」

「んっ…んっんぶっ！」

「歯は立てないようにね。あー気持ちいい」

おじさんは気持ちよさそうですが

ファルルちゃんは苦しそうです。

ぎゅっ♡

ぎゅっ♡

し♡

し♡

んっ♡

んっ♡

「おちんちんはいつぱいあるんだからこっちも手を使って洗ってよ」  
いつの間にかおじさんが増えています。  
注文も人数も多くて  
ファルルちゃんは大忙し！



おっぱいで挟んでとお願いされたファルルちゃん。初めてだけど一生懸命頑張っています。「そうそうそのままギュつとしながら動かして：うっイク…！おっぱいに出すよファルルちゃん！」

「わっ なにか出てきた！」  
「これは精液っていう…まあ溜まった汚れみたいなものさ。他のおじさん達のもの、こーやって汚れを出させてあげてね。おかげでスツキリしたよ。ありがとう」  
喜ぶおじさんを見て、ファルルちゃんは嬉しそうです。  
「うん。おっぱいの挟み方分かったから、ファルル頑張るね」

↓27%

↓21%

ド...

「おっぱいもいいけど…人も多いし、おまんこも使おつか」「おまんこ、使う…?」「心配しなくていいよ！ファルルちゃんはお尻をここのちに向けるだけでいいからね」

敏感になっているおまんこにおちんちんが触れて、さっきの気持ちよさを思いだしたファルルちゃんでしたがいー

?

ピクッ

ズ...

ズ



「あっ♡んっ♡あっ♡あっ♡」

舐められた時よりも何倍も気持ちよくて、  
思わず大きな声が出てしまうファルルちゃん。  
「締まりすごいね、すぐイっちゃういそうだ！」

「やじやないでしょW  
奥すきだから  
締め付けてるもんね、  
気持ちいい時は  
なんて言うんだっけ？」

おじさんは強く腰を  
打ち付けてきます。

「あーすごい締まるっ  
ファルルちゃん奥すき？  
ちよっと激しくするね」  
「あっ♡やっ♡やだっ♡やだあっ♡」

「あっ♡いっ♡いっ♡いっ♡  
ふあるるイクっ♡」



「最高だったよファルルちゃん。」

「すごく締め付けるからちよつと中に出ちゃったよ。」

「ごめんねと謝るおじさんの言葉は、」

「激しくイッたばかりのファルルちゃんの耳には」

「届いていないみたい。ピクピクと震えるだけです。」

「順番があるから交代するけど、一周したら」

「またハメさせて貰うから待っててね。」

「ファルルちゃん次俺の番だよ。お尻こっち向けて」

「ファルルちゃん大丈夫!? 皆順番待ってるから、」

「一人目で疲れてちゃんたないよ。」

「集まってきたおじさんたちは元気いっぱいです。」

「ファルルちゃんは頑張れるのでしょうか……」

「なんて想像をしてブチギレる、  
『ファ〇ル激似女優の〆〆を見つけた  
ユニコンなのでした。』」

おはおはおは  
おはおはおは  
おはおはおは  
おはおはおは

ファ〇ル  
激似女優

オール一枚で  
場に潜入!



新商品!

## あとがき



おりひか

twitter: @orihikaaa

私の日ごろの行いもあるのですが、この本を出したことで何人かのファルル絵師の方々にブロックされたのがつらいです。

## 奥付

- 発行日：2021年3月28日
- 発行：おりひかランド
- 連絡先：orihika.hello@gmail.com
- 印刷所：株式会社ポプルス





男女入れ替え湯に気づかず  
男湯に入ってしまう  
ファルルの本



PRIPARA  
Unofficial fanbook

**R18**  
ADULT ONLY  
成人向け作品につき  
18歳未満閲覧禁止